

# 1 学年及び単元名 第3学年 「 かけ算 」

## 2 問題

1 本80円のえんぴつが、1ケースに5本入って売られています。

2 ケース買ったときの代金を、AさんとBさんはそれぞれちがう式で考えました。

(※ただし、消費税<sup>しょうひぜい</sup>は考えないものとします。)

$$\text{Aさんの式} \quad \cdot \cdot 80 \times 5 \times 2 = 400 \times 2 = 800$$

答え 800円

$$\text{Bさんの式} \quad \cdot \cdot 80 \times (5 \times 2) = 80 \times 10 = 800$$

答え 800円

AさんとBさんの考え方のちがいを説明しましょう。

## 3 ねらい及び活用のポイント

- ・ 3つの数のかけ算について、計算順序の違う2つの式の意味を読み取ることをねらいとする。
- ・ 先に1ケース分の値段を出すのか、先に2ケース分の本数を出すのかの違いを理解する。
- ・ 同じ3つの数のかけ算でも求めるものの優先順位によって、かける順番が変わることに気付く。
- ・ ( )を用いることで、計算する順番が変わることを確認する。
- ・ 自分の言葉で分かりやすく説明ができるようにする。
- ・ より簡単に計算する方法として、( )を使うことにも触れる。

## 4 考え方

Aさんの考え	Bさんの考え
<p>・ <math>80 \times 5 = 400</math> で、1ケースの代金を出している。 次に、<math>400 \times 2 = 800</math> で、2ケース分の代金(800円)を求めている。</p> <p>※Aさんは、先に1ケース分の代金を求めている。</p> <p>※3つの数のかけ算を前から順番に計算している。</p>	<p>・ <math>5 \times 2 = 10</math> だから10本で、2ケース分のえんぴつの本数を出している。次に <math>80 \times 10 = 800</math> で、10本分の代金(800円)を求めている。</p> <p>※Bさんは、先に2ケース分の本数を求めている。</p> <p>※( )の中のかけ算を先に計算している。</p>

算 数

年 組 番 名 前

問 題

かけ算

1本80円のえんぴつが、1ケースに5本入って売られています。

2ケース買ったときの代金を、AさんとBさんはそれぞれちがう式で考えました。

(※ただし、消費税は考えないものとします。)

$$\text{Aさんの式} \quad \cdot \cdot 80 \times 5 \times 2 = 400 \times 2 = 800$$

答え 800円

$$\text{Bさんの式} \quad \cdot \cdot 80 \times (5 \times 2) = 80 \times 10 = 800$$

答え 800円

AさんとBさんの考え方のちがいを説明しましょう。

《自分の考え》

Aさんの考え

Bさんの考え